

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2020年7月31日から2030年7月26日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界新時代株式マザーファンド 世界の株式等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資します。 ■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価を行い、銘柄を選定します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界新時代株式マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

世界新時代株式ファンド （予想分配金提示型）

【愛称:World Change】

【運用報告書(全体版)】

第1作成期（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

第 1 期 / 第 2 期 / 第 3 期
 決算日2020年8月26日 決算日2020年9月28日 決算日2020年10月26日

第 4 期 / 第 5 期 / 第 6 期
 決算日2020年11月26日 決算日2020年12月28日 決算日2021年1月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

■ ■ 設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
第1 作成期	(設定日) 2020年7月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 321
	1期(2020年8月26日)	10,375	30	4.1	92.1	2.8	398
	2期(2020年9月28日)	10,048	0	△3.2	91.9	2.8	453
	3期(2020年10月26日)	10,464	30	4.4	91.0	2.6	642
	4期(2020年11月26日)	10,734	50	3.1	94.4	2.2	1,060
	5期(2020年12月28日)	11,273	100	6.0	93.5	1.7	1,652
	6期(2021年1月26日)	11,769	100	5.3	97.2	1.6	2,341

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
		騰 落 率	騰 落 率		
第1期	(設 定 日) 2020年7月31日	円 10,000	% -	% -	% -
	7月末	9,995	△0.1	5.5	-
	(期 末) 2020年8月26日	10,405	4.1	92.1	2.8
第2期	(期 首) 2020年8月26日	10,375	-	92.1	2.8
	8月末	10,454	0.8	92.2	3.0
	(期 末) 2020年9月28日	10,048	△3.2	91.9	2.8
第3期	(期 首) 2020年9月28日	10,048	-	91.9	2.8
	9月末	10,210	1.6	94.6	2.8
	(期 末) 2020年10月26日	10,494	4.4	91.0	2.6
第4期	(期 首) 2020年10月26日	10,464	-	91.0	2.6
	10月末	10,283	△1.7	88.3	2.6
	(期 末) 2020年11月26日	10,784	3.1	94.4	2.2
第5期	(期 首) 2020年11月26日	10,734	-	94.4	2.2
	11月末	10,850	1.1	96.1	2.2
	(期 末) 2020年12月28日	11,373	6.0	93.5	1.7
第6期	(期 首) 2020年12月28日	11,273	-	93.5	1.7
	12月末	11,184	△0.8	92.7	1.7
	(期 末) 2021年1月26日	11,869	5.3	97.2	1.6

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比または期首比です。

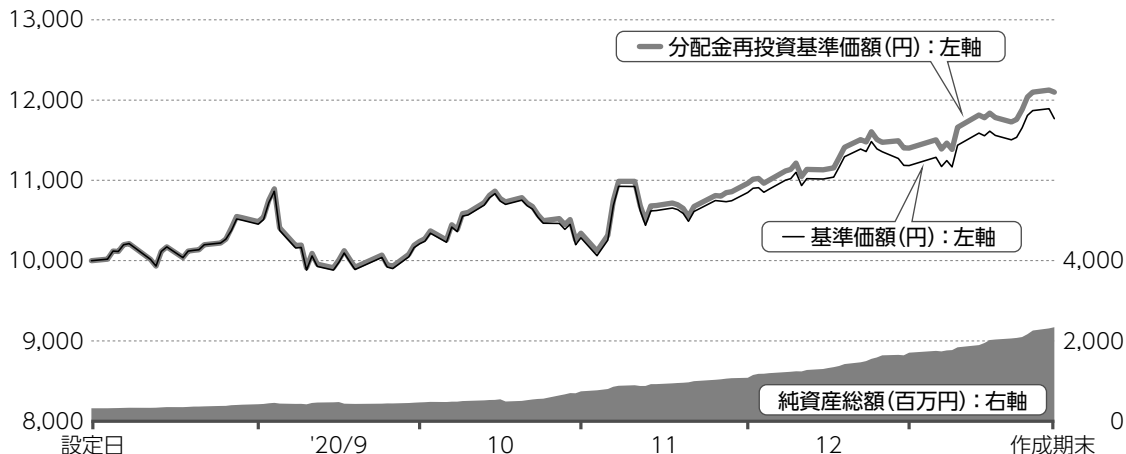
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

基準価額等の推移



設定日	10,000円
作成期末	12,079円 (分配金310円(税引前)込み)
騰落率	+21.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

当ファンドでは、マザーファンドへの投資を通じて、構造的な変化とそれによって生じた新常态（ニューノーマル）の世界に着目します。ニューノーマルへの変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行います。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 設定当初から9月上旬まで、パンデミック（世界的大流行）化した新型コロナウイルスに対する財政、金融政策対応を好感し、株式市場が大幅に上昇したこと
- 11月上旬から作成期末にかけて、米国の政権交代による政策期待などから株式市場が上昇したこと

下落要因

- 9月上旬から10月下旬にかけて、感染者数の増加による経済活動の持続性や米中関係に対する懸念で株式市場が調整したこと
- 米国の金利低下による内外金利差の縮小などから、作成期を通じて、米ドル安・円高基調で推移したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
世界新時代株式マザーファンド	世界の株式	+21.9%	101.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

当作成期の世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、対円で米ドルは下落しました。

株式市場

世界同時的に発生した新型コロナウイルスのパンデミックによる景気の急減速や株式市場の下落を経て、ファンド設定当初から作成期末までの期間、経済活動は回復の動きを探るとともに、株式市場もポストコロナ局面への移行を見据えて大幅に上昇しました。

各国政府は未曾有の危機に対して早期回復への確固たる意思表示と政策対応を行うとともに、多くの経済指標や企業の四半期決算は4-6月期が景気の大底期であったとの認識が広まったことで、株式市場は設定当初から9月上旬まで上昇しました。その後、10月末にかけては、利益確定の売りに押されて市場は停滞する局面もありましたが、11月に米国大統領選挙でバイデン候補勝利の見通しが高まり、政局不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの実用化に向けての期待が高まったことから、株式市場は上昇基調を取り戻し、作成期末まで上昇基調で推移しました。

目に見えない新型コロナウイルスとの戦いが続く中で、世界は新常态（ニューノーマル）へと動き出しました。様々な分野においてデジタル技術を利用した企業活動や消費行動の

変化がみられました。例えば、リモートワークの普及でインターネットを活用したテレビ会議や電子署名を採用する企業が増えました。在宅時間の増加により、食材や日用品のデリバリーといったサービスやキャッシュレス決済などが私たちの日常生活に浸透しました。

株式市場もこうしたニューノーマルへの動きに呼応して、新技術や新商品を提供する関連企業の株価は株式市場の上昇を主導しました。

当作成期の市場の動きをMSCIオールカントリーインデックス（配当込み、米ドルベース）で見ると、設定日に比べて21.8%上昇しました。

為替市場

●米ドル／円

世界的に経済活動が混乱する状況下で、米国の金融政策において量的緩和策が強化されたことによる低金利の長期化見通しなどから、作成期を通じて、米ドルは下落基調で推移しました。

当作成期の米ドル・円は設定日104円60銭から作成期末103円77銭へと0円83銭の米ドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

当ファンド

作成期を通じて「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。

世界新時代株式マザーファンド

当ファンドでは、世界経済のニューノーマルへの変化として、特に「ライフスタイルの変化」、「企業戦略の変化」、「医療・健康の変化」に注目し、この変化の過程で新しい価値を創造し、長期的に成長が見込まれる企業を厳選して投資を行いました。

ライフスタイルの変化では、eコマース（電子商取引）の浸透により成長率が高まる分野であるスーパーマーケットや教育等のオンライン化に着目しました。企業戦略の変化では、リモートワークの対応を受けたセキュリティ環境の整備の動きが強まるとの見方から、セキュリティ関連銘柄の買入れを進めました。医療・健康の変化では、新型コロナウイルスといった新たな脅威へ対抗する持続的な取り組みとしてバイオ医薬品の開発や医療情報の

デジタル化に注目しました。

個別銘柄については、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界において競争を勝ち抜く企業を買いました。ライフスタイルの変化では、ネットスーパー事業を国内外で拡大しているイギリスのオカド・グループ、パートナー探しのオンライン事業で世界的に高いシェアを有する米国のマッチ・グループ、教育市場へのオンラインの浸透に着目し、中国の新東方教育科技などを買いました。企業戦略の変化では、クラウドベースのセキュリティに着目し、米国のクラウド・ストライク・ホールディングスやオクタなどを買いました。医療・健康の変化では、バイオ医薬品市場の拡大に着目し、フランスのザルトリウス・ステディム・バイオテック、医療のデジタル化に着目し、日本のエムスリーなどを買いました。

なお直近の月末時点（2020年12月末）における純資産に占める投資テーマ別の構成比率は「ライフスタイルの変化」が40%、「企業戦略の変化」が36%、「医療・健康の変化」が18%となっています。

ベンチマークとの差異について（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、第1期は30円、第2期は見送り、第3期は30円、第4期は50円、第5期および第6期は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
当期分配金	30	—	30	50	100	100
(対基準価額比率)	(0.288%)	(—%)	(0.286%)	(0.464%)	(0.879%)	(0.843%)
当期の収益	30	—	30	50	100	100
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	374	350	464	734	1,272	1,768

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

世界新時代株式マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの世界は大きく変化しています。これまでのビジネスモデルや生活様式から、新たな価値観を伴うニューノーマルへの動きが加速しています。ワクチンの開発が進み、中国や米欧で接種が開始されており、私たちは、

100年ぶりの世界的な感染症への対応策を見出しつつありますが、新型コロナをきっかけとした消費者や企業の意識、行動の変化など、世界のニューノーマルへの移行は今後も継続していくとみています。

この大きな潮流の変化のなかで、新たな価値を創造できる企業の成長はまだ始まったばかりです。これら企業は今後も株式市場のけん引役となると確信しています。当ファンドでは、中長期的な視点に基づき、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界で競争に勝ち抜くと判断した企業に集中投資を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年7月31日から2021年1月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	82円 (40) (40) (2)	0.781% (0.380) (0.380) (0.022)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	21 (21) (0)	0.198 (0.197) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	12 (12)	0.117 (0.117)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (4) (0) (0)	0.041 (0.036) (0.004) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	119	1.137	

期中の平均基準価額は10,496円です。

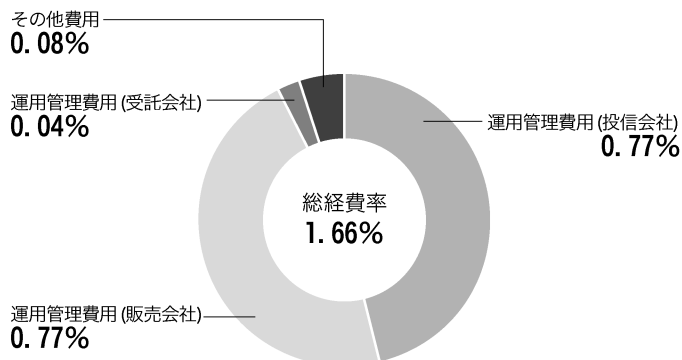
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.66%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 2,057,517	千円 2,252,171	千口 118,369	千円 125,410

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

項 目	当 作 成 期
	世界新時代株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	13,672,484千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	3,834,194千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.56

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

(1)利害関係人との取引状況

世界新時代株式ファンド（予想分配金提示型）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

世界新時代株式マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 12,655	百万円 58	% 0.5	百万円 1,017	百万円 -	% -

※平均保有割合 18.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

世界新時代株式ファンド（予想分配金提示型）

項 目	当 作 成 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	1,532千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	8千円
(c) (b) / (a)	0.5%

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況(2020年7月31日から2021年1月26日まで)

作成期首残高 (元 本)	当作成期設定 元 本	当作成期解約 元 本	作成期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 124	百万円 -	百万円 124	百万円 -	当初設定時における取得等

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 組入れ資産の明細(2021年1月26日現在)

親投資信託残高

種 類	作 成 期 末	
	口 数	評 価 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 1,939,147	千円 2,364,014

※世界新時代株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は11,098,185千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2021年1月26日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界新時代株式マザーファンド	2,364,014	99.9
コール・ローン等、その他	3,250	0.1
投資信託財産総額	2,367,264	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※世界新時代株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産(12,136,731千円)の投資信託財産総額(13,813,451千円)に対する比率は87.9%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=103.77円、1ユーロ=125.90円、1英ポンド=141.88円、1スイスフラン=116.81円、1オーストラリアドル=79.98円、1香港ドル=13.39円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年8月26日) (2020年9月28日) (2020年10月26日) (2020年11月26日) (2020年12月28日) (2021年1月26日)

項 目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末	第6期末
(A) 資 産	399,913,235円	453,894,923円	645,379,414円	1,066,466,582円	1,668,693,807円	2,367,264,167円
コール・ローン等	—	19,684	23,575	134,403	42,092	3,249,434
世界新時代株式マザーファンド(評価額)	399,913,235	453,875,239	645,355,839	1,066,332,179	1,668,651,715	2,364,014,733
(B) 負 債	1,543,770	630,319	2,465,395	6,226,816	16,492,869	25,531,423
未払収益分配金	1,151,954	—	1,843,139	4,938,568	14,656,330	19,897,698
未払解約金	—	—	—	104,003	—	3,188,160
未払信託報酬	390,140	626,040	615,425	1,172,538	1,817,272	2,416,205
未払利息	—	—	—	—	—	8
その他未払費用	1,676	4,279	6,831	11,707	19,267	29,352
(C) 純資産総額(A-B)	398,369,465	453,264,604	642,914,019	1,060,239,766	1,652,200,938	2,341,732,744
元 本	383,984,782	451,080,673	614,379,770	987,713,620	1,465,633,099	1,989,769,862
次期繰越損益金	14,384,683	2,183,931	28,534,249	72,526,146	186,567,839	351,962,882
(D) 受益権総口数	383,984,782口	451,080,673口	614,379,770口	987,713,620口	1,465,633,099口	1,989,769,862口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,375円	10,048円	10,464円	10,734円	11,273円	11,769円

※当作成期における作成期首元本額321,786,076円、作成期中追加設定元本額1,805,229,795円、作成期中一部解約元本額137,246,009円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年7月31日 至2020年8月26日) (自2020年8月27日 至2020年9月28日) (自2020年9月29日 至2020年10月26日) (自2020年10月27日 至2020年11月26日) (自2020年11月27日 至2020年12月28日) (自2020年12月29日 至2021年1月26日)

項目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
(A) 配当等収益	－円	△ 69円	△ 386円	△ 6円	△ 15円	△ 93円
支払利息	－	△ 69	△ 386	△ 6	△ 15	△ 93
(B) 有価証券売買損益	14,973,785	△11,889,895	15,738,107	32,878,478	75,849,363	106,283,695
売買益	14,973,785	1,713,136	20,575,268	32,881,160	75,878,521	106,575,238
売買損	－	△13,603,031	△ 4,837,161	△ 2,682	△ 29,158	△ 291,543
(C) 信託報酬等	△ 391,816	△ 628,643	△ 617,978	△ 1,177,414	△ 1,824,832	△ 2,426,290
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	14,581,969	△12,518,607	15,119,743	31,701,058	74,024,516	103,857,312
(E) 前期繰越損益金	－	12,054,017	△ 395,324	12,871,656	39,562,920	98,353,053
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	954,668 (－)	2,648,521 (3,760,815)	15,652,969 (11,292,672)	32,892,000 (26,000,474)	87,636,733 (57,943,071)	169,650,215 (114,648,011)
(売買損益相当額)	(954,668)	(△ 1,112,294)	(4,360,297)	(6,891,526)	(29,693,662)	(55,002,204)
(G) 計(D+E+F)	15,536,637	2,183,931	30,377,388	77,464,714	201,224,169	371,860,580
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	△ 1,151,954 14,384,683	0 2,183,931	△ 1,843,139 28,534,249	△ 4,938,568 72,526,146	△ 14,656,330 186,567,839	△ 19,897,698 351,962,882
追加信託差損益金 (配当等相当額)	954,668 (32,439)	2,648,521 (3,767,763)	15,652,969 (11,298,072)	32,892,000 (26,076,401)	87,636,733 (57,961,989)	169,650,215 (114,672,897)
(売買損益相当額)	(922,229)	(△ 1,119,242)	(4,354,897)	(6,815,599)	(29,674,744)	(54,977,318)
分配準備積立金	13,430,015	12,054,017	12,881,280	39,634,146	98,931,106	182,312,667
繰越損益金	－	△12,518,607	－	－	－	－

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
(a) 費用控除後の配当等収益	195,017円	－円	83,991円	272,854円	57,319円	101,834円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	14,386,952	－	4,383,550	31,428,204	73,967,197	103,755,478
(c) 収益調整金	954,668	3,767,763	15,652,969	32,892,000	87,636,733	169,650,215
(d) 分配準備積立金	－	12,054,017	10,256,878	12,871,656	39,562,920	98,353,053
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	15,536,637	15,821,780	30,377,388	77,464,714	201,224,169	371,860,580
1万口当たり分配可能額	404	350	494	784	1,372	1,868
(f) 分配金額	1,151,954	－	1,843,139	4,938,568	14,656,330	19,897,698
1万口当たり分配金額(税引前)	30	－	30	50	100	100

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	30円	－円	30円	50円	100円	100円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

世界新時代株式マザーファンド

信託期間	無期限（設定日：2020年7月31日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">■世界の取引所に上場している株式*の中から、主として構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する企業の株式に厳選して投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。※不動産投資信託（REIT）、DR（預託証書）等を含みます。■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価**を行い、銘柄を選定します。※※ESG評価に懸念のある銘柄は除外します。■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

世界新時代株式マザーファンドの第1期決算日は2021年7月26日のため、掲載すべき事項はございません。